

書誌

(19) 【発行国】日本国特許庁 (JP)

(12) 【公報種別】公開特許公報 (A)

(11) 【公開番号】特開2002-227799 (P2002-227799A)

(43) 【公開日】平成14年8月14日 (2002. 8. 14)

(54) 【発明の名称】可変流量エゼクタおよび該可変流量エゼクタを備えた燃料電池システム

(51) 【国際特許分類第7版】

F04F 5/18

5/46

5/48

H01M 8/04

// H01M 8/10

【F I】

F04F 5/18

5/46 B

5/48 C

H01M 8/04 N

8/10

【審査請求】未請求

【請求項の数】4

【出願形態】O L

【全頁数】8

(21) 【出願番号】特願2001-26997 (P2001-26997)

(22) 【出願日】平成13年2月2日 (2001. 2. 2)

(71) 【出願人】

【識別番号】000005326

【氏名又は名称】本田技研工業株式会社

【住所又は居所】東京都港区南青山二丁目1番1号

(72) 【発明者】

【氏名】菅原 竜也

【住所又は居所】埼玉県和光市中央1丁目4番1号 株式会社本田技術研究所内

(72) 【発明者】

【氏名】木崎 滋和

【住所又は居所】埼玉県和光市中央1丁目4番1号 株式会社本田技術研究所内

(72) 【発明者】

【氏名】縫谷 芳雄

【住所又は居所】埼玉県和光市中央1丁目4番1号 株式会社本田技術研究所内

(74) 【代理人】

【識別番号】100064908

【弁理士】

【氏名又は名称】志賀 正武（外5名）

【テーマコード（参考）】

3H079

5H026

5H027

【F ターム（参考）】

3H079 AA18 AA23 BB05 CC12 CC21 DD03 DD52

5H026 AA06

5H027 AA06 BA13 BA19 BC19 MM03 MM08

要約

(57) 【要約】

【課題】 電気的な制御を必要としない単純な構成で、所望の高精度の圧力流量制御を行う。

【解決手段】 可変流量エゼクタ10を、ノズル32とニードル33と第1及び第2ダイアフラム35, 36とを備えて構成した。ノズル32の内部には、燃料供給部から燃料供給側圧力制御部を介して燃料が供給される流体通路51を設けた。流体通路51には、ノズル32と同軸の軸線方向に伸びるニードル33を挿入して軸線方向に摺動可能に保持した。流体通路51の上流端を第1ダイアフラム35により閉塞した。ニードル33の基端部には、互いに離間して配置された第1及び第2ダイアフラム35, 36を接続固定した。第1及び第2ダイアフラム35, 36と筐体10aとによって空気極圧導入室54を形成し、第2ダイアフラム36と筐体10aとによって燃料極圧導入室56を形成した。

